

## 令和5年度第3回海老名市スポーツ振興審議会【結果報告】

日時：令和6年1月24日（水） 午後1時から午後2時30分まで

会場：海老名市役所6階 第3委員会室

出席者：【委員】

倉橋正美（会長）、齊藤賞一（副会長）、秀島保男、  
石井正雄、今福秀雄、小川百合子、舛本直文、松井孝夫

【事務局】

<市民協働部>

告原部長、曾田次長

<文化スポーツ課>

宮澤課長、佐藤課長補佐、小松主事、松本主事補

傍聴人数：0名

議題：（1）海老名市スポーツ健康推進計画最終評価（案）について  
（2）海老名市スポーツ推進計画（案）について

資料：（1）海老名市スポーツ健康推進計画最終評価（案）  
（2）海老名市スポーツ推進計画（案）

### 1 開会

<あいさつ> 宮澤課長

### 2 市長あいさつ

### 3 諮問

海老名市スポーツ推進計画について

内野市長から倉橋会長に諮問書を渡す。

<あいさつ> 倉橋会長

### 4 議題

<あいさつ> 倉橋会長

（1）海老名市スポーツ健康推進計画最終評価（案）について

ア 議題の概要

海老名市スポーツ健康推進計画最終評価（案）について審議をし、了承を得た。

イ 審議経過

（ア）事務局から、部内評価を行った結果を記載した資料1に基づいて、説明を行った。

（イ）意見等の集約を行った。意見については、新たに作成するスポーツ推進計画に可能な限り反映することです承を得た。

## ○委員からの意見

### 委員

質疑に入る前に、そもそもこの計画の評価は誰がどのように評価したのか。アンケート等で意見を回収した上での評価なのか、あるいは部内評価であるのかを示してほしい。

### 事務局

アンケートは取得したが、中間評価の際とアンケートの取得方法が異なり正確な比較評価ができないため、所管課のほうで評価を実施した。

### 委員

「座間市と合同で行う『二市合同障害者運動会』については、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み実施していません」(p.19)と記載があるが、海老名市障害者団体連合会としては、中止の判断をしている。

不確定の内容とはなるが、市長からは、海老名市・座間市・綾瀬市・大和市で合同の運動会をやってみるのはいかがでしょうか、という提案もあった。

### 事務局

当件の記載に関しては、障がい福祉課にも確認したところ、今後の取り組みの中で、現状実施できていない運動会に関しては、将来的に複数の市町村で実施できるよう検討中の段階とのことだった。

### 委員

先ほどの市長の話の中でもあったが、野球場の修繕や活用方法について当審議会の中で経過や方向性を示していただきたい。

また、同様に、以前審議会の決議で購入をした新体操用のマットの活用状況を示していただきたい。

### 事務局

野球場の修繕については、市は現在、公共施設再編計画や施設ごとの個別計画を策定中であり、まずはそちらで市民の方の御意見を伺い、その後審議が必要な案件が出次第、審議会の中でも審議していただく流れを想定している。

なお、新体操用のマットについては、海老名市スポーツ協会の種目団体が練習や試合で使用している。他にも、中体連（部活動）を中心に活用していただいている。

### 委員

市民の声を聞いてみると、高校野球ができる程度の野球場に、という声もでてきていると感じている。

### 事務局

高校野球の出場校数は年々減少傾向であり、開催できる球場の取り合いの状況であり、市としては慎重に研究していきたいと考えている。

### 委員

「海老名市スポーツ健康推進計画」では、長期目標として「一市民一スポーツ・レクリエーションの実現」が掲げられた上で3つの柱があるが、こちらの長期目標に対する評価はどのようになっているのか。

そもそもスポーツ嫌いな人もいる中で、「一市民一スポーツ・レク

リエーション」は妥当なのか疑問だ。

#### 事務局

①のスポーツ実施率について、中間評価の際とアンケートの取得方法が異なるため、当市は正確な比較評価ができないが、「65%以上を目指す」という目標については、国も県も同様のパーセンテージで示している。なお令和4年度のスポーツ実施率は52.3%だった。

当市が数値としてお示しできない点については御了承いただきたい。

なお長期目標に対する評価については、「長期目標①②では、～」(p.6)と記載があるとおり。

また、「オリンピック強化指定選手報奨金」の運用を見直し、令和4年度から「海老名市スポーツ選手強化報奨金」として以降、「ドッジボールや空手道といった種目において日本代表選手に選出されたり、国際規模の大会に出場されたり、ということが確認できている。

令和5年度については、12月までの申請で、6名ほど、国際規模の大会に出場され、報奨金の申請をされている。

#### 委員

海老名市は国際姉妹都市を結んでいるのか。

子供たちの活躍や経験をする機会を増やすためにも伺いたい。

#### 事務局

現状、国際姉妹都市の締結はしていない。

#### 委員

それでは、今後、国際姉妹都市を締結する方針等はあるか。

#### 事務局

子供たちが国際大会・国際関係の友好を図りながら、技能や心身の発達が見込める点については、国際姉妹都市の締結は有意義だと認識はしているが、現在の海老名市の立ち位置としては、国内と連携を強化する時期であると認識しているため、市全体としても、国際姉妹都市を締結する見込みは現状無い。

#### 委員

子供たちの多様性を育むためにも、国際姉妹都市縁組をすることを検討されたい。

#### 委員

計画策定～中間評価～最終評価を行い、また次期計画の策定に移るということは、PDCAサイクルができています。

また、スポーツには年齢・性別・経験年数（プロ・アマ）等の幅があるが、当計画の中身についてはそれらの幅に目が行き届いているなど思い、私は海老名市に住んでよかったと思った。

その中で、一点だけ気になったのは、「評価C」の項目が多くあると思うが、実際は量的・質的評価を参加者に確認したら「評価B」であった可能性もあると思う。謙虚になりすぎている気がする。

余談ではあるが、年度末にまとめて評価するのと、事業が終わった直後に評価するのでは、全く性質が異なるので、評価は事業終了後すぐに評価したほうが良いと思う。

## 事務局

市役所としてもLINEの活用が進められており、実際に令和5年度の健康マラソン大会では、LINEを使用してアンケートを実施した。

来年度以降も引き続き、事業実施後すぐのアンケート取得について努めていきたい。

## 委員

レクパラスポーツフェスタは、北部公園体育館で実施したものか。

## 事務局

令和4年度に海老名運動公園でレクパラスポーツフェスタを実施したが、障がい者の方がより参加しやすいようにと障がい福祉課が主管で「パラスポーツフェスタ」を北部公園にて実施した。

## 委員

どのような考えがあり、課を縦割りにし、イベントを「パラスポーツフェスタ（障がい福祉課）」と「スポレクフェスタ（文化スポーツ課）」を切り分けたのか。

## 事務局

元々は障がい者の参加者より、「規模が大きすぎると参加しにくい」という御意見をいただき、小規模な形で、障がい者の参加者の方にも参加しやすいイベントに変えてみようということで令和5年度はこのような形で開催した。

## 委員

その結果として、評価はいかがなものだったのか。

## 委員

当日雨が降ってしまい、来場者が見込めるか心配であったが、それでも60名程度の参加があり、そのうち、ブースの内容として、北海道の企業が車いすを展示・試乗していただく機会があった。

公道にこそでるのは難しい点もあるかもしれないが、通常時使用するのには、足が全く使えない方でも手元のレバーだけで簡単に操作をすることができるため、とても良いと感じた。

## 委員

実は私自身も参加し、健常者の方にも障がい者のことを理解していただき、障がいの有無に関係なく両者が一緒に参加できる良い機会だと感じた。

そのため、縮小（健常者と障がい者でイベントを切り分けて）開催するのはもったいないと考えている。

そこで両者が一緒に参加できるイベントを検討いただきたい。

## 委員

学校の校庭の芝生は全校で行っていないのはなぜか。

（海老名市北部だと、上星小学校・杉本小学校・柏ヶ谷小学校が芝生化されていない）

## 事務局

教育委員会に確認し、追って回答する。

**【後日、教育総務課に確認した結果】**

芝がうまく根付かないことや維持管理が難しいなどの理由から、校庭の芝生化を拡大するような取組みは行っておらず、現状の維持管理を中心に事業を行っています。

**委員**

部活動の地域移行に伴って、28名の方が指導員として登録されているが、部活動の内容のうちスポーツではどういう分野に派遣されるのか。

**事務局**

全体的に部活動の指導者は不足しているが、どの競技に派遣、ということではなく全体のバランスをみて学校のサポートをするイメージである。

**委員**

保健体育を教えるのであれば、体育教員免許で指導できるが、それ以外の、中学から高校までで継続的にスポーツを実施するという観点からするとどういう指導者につくのか、ということは非常に重要であると感じている。

部活動の地域移行は大きなテーマであるが、中学校の部活動は特にスポーツ選択の大きな起点であるため、もう少し具体的であった方がいいのでは。

**事務局**

今年度、教育委員会主導の部活動のあり方検討会にて、基本的な方針を定め、令和6年から8年にかけてスケジュールを定め、負担軽減のためにもできることからやっている状況である。

**委員**

そのような場合、スポーツ庁の助成金が活用できるのではないか。

海老名市民に、多様なスポーツの選択肢を与えたり、あるいはスポーツに触れる機会の創出をしたりすることが重要であると考えます。

**事務局**

子ども達の部活動での経験や機会等を保障するためにもご指摘の事項を進めていきたいと考えている。

**委員**

今の内容を受け、次期計画ではどのように盛り込んでいくかが重要ではないか。

以前から部活動の地域移行に合わせて、総合地域スポーツクラブの創設や学校施設の開放、地域のスポーツ指導者確保が焦点である。

子ども達にとって何が良いのかを考え、そして早急に対応する必要がある。

**委員**

いずれにせよ、中体連が解散するので、各中学校の部活の存続にもつながる問題である。指導者がいればいいが、学校の先生は部活動に関わりたくても働き方改革で、現状板挟み状態である。

同伴については教育委員会も議論を進めているとは思いますが、地域の指

導者にどのように御協力いただけるかという方針自体も絡んでくるので時間を要する案件ではあるが、当審議会としても、文化スポーツ課だけでなく、教育委員会を始め、例えばパラスポーツフェスタであれば障がい福祉課等も含めた形で、関係機関に要望を出していくことも今後は必要であると考えている。

諮問をされた事項だけを判断するのではなく、その判断したことによって意見を申し上げることも重要なので、委員の皆様におかれましてもそのように御意見を出していただけるとよろしいのではないかと。

#### 委員

地域の企業でも素晴らしい人材がいるので、人材バンクの仕組みを構築していただくことも御検討いただきたい。

### (2) 海老名市スポーツ推進計画（案）について

#### ア 議題の概要

海老名市スポーツ推進計画（案）について審議を行った。

#### イ 審議経過

(ア) 事務局から概要説明を行った。

(イ) 意見等の集約を行った。

主な意見は次のとおりであった。

- ・学校の芝生化が難しいようであれば、北部公園の多目的広場の芝生化を検討いただきたい。
- ・多様性等が見えるような計画にする必要があるのではないかと。
- ・人材バンク等、学校の部活動の地域移行化に向けて体制を整えたほうが良い。

(ウ) 本議題について、継続審議にすることにした。

審議会委員のほか、関係団体等に当計画について意見照会を行い、それを反映させた上で、次回（令和6年2月29日開催）審議されたい。

### ○委員からの意見

#### 委員

海老名市スポーツ健康推進計画最終評価報告書（資料1）（以下、『評価』という。）において、評価Cに満たなかった部分について、「こういう風に改善します」といった説明が無かったように思うので改めて教えていただきたい。

#### 委員

評価の、

- ①p. 20「スポーツ施設のバリアフリー化」
- ②p. 22「公共予約システムの活用」
- ③p. 26「運動公園・北部公園の整備」
- ④p. 27「小学校校庭の芝生化」
- ⑤p. 33「地域団体との連携」

⑥p. 35「プロスポーツ選手との交流促進」

について説明をいただきたい。

#### 事務局

①評価p. 20「スポーツ施設のバリアフリー化」について、海老名市スポーツ推進計画（資料2）（以下、『推進計画』という。）ではバリアフリー化について特化して記述はしていないが、推進計画p. 11「スポーツ施設の整備充実」の中で、施設の老朽化に伴い、施設の再整備の中でバリアフリー化も検討していく所存である。

②評価p. 22「公共予約システムの活用」について、推進計画p. 11「スポーツ施設予約システムの充実」において、今現在運用はできているが、利用者の更なる利便性の向上を目指していく、とさせていただいた。

③評価p. 26「運動公園・北部公園の整備」について、推進計画p. 11「スポーツ施設の整備充実」の中で記載をさせていただいた。

④計画p. 27「小学校校庭の芝生化」については、推進計画では記述をしていない。

当初、校庭の芝生化については、数校で試験的に運用をさせていただいた後、全校での設置を検討していた。

しかし実際は、芝生化してしまうとグラウンドの配置（形状）が各校で様々であり、トラック等うまく配置できなかつたり、日照条件が揃わなかつたり、という経緯があり、全校での設置はなかなか困難であったと聞いている。

海老名市スポーツ健康推進計画の中間評価では芝生化する学校数は10校と記載があるが、最終評価では6校となっている。

それは現状、芝を維持できる学校が減っていることを示し、またその6校については、今後の方針については未定の部分も多く、今後芝生化をする学校を増やすというのは事実上難しいという状況にあるため、最終評価ではD評価とさせていただき、推進計画ではそこについては芝生化する学校が増えるという見込みがなかったため、記述はしなかった。

#### 委員

そもそも学校の芝生化は、子供たちの安全を守るという意味での芝生化であったのではないか。

#### 事務局

子供たちの安全はもちろん、芝生化の一番の目的は、屋外プールの撤去をした後の跡地の活用として、ある学校から「芝生化により子供たちが活動しやすいのでは」という提案があり、芝生化の実証をスタートした。

その後、屋外プールの撤去から時間を経て、各学校でも使い方は模索をされている。

その中で芝生化がメリットとなる学校の選定が難しく、トラックの中含め、全面芝生化についての意見もあったが、学校運営上、一部を芝生化

ということでスタートをさせていただき、それが実体の中では当てはまる学校と当てはまらない学校がでてきている状況である。

#### 委員

芝生は維持するのにとてもコストがかかる。

雑草が生えてきてはそれを摘む作業がでてくるが、一時期自治会館の庭や広場で、自治会に依頼をして芝生化にする試みがあり、私自身も植え込み等を手伝ったことがあるが、育つまでが大変で、育った後も自治会が草刈りをする必要があり、現状それで芝が残っている箇所はほとんどない状況である。

つまり、手入れができないと雑草が茂り、最終的に芝が枯れてしまい、普通の地面に戻ってしまうのである。

国分北の自治会館（エビナ文具前）は、ちゃんと整備されているため唯一の成功例である。

#### 委員

A委員はどうお考えか。

#### A委員

芝生化は実際、維持管理がすごく大変で、草刈り作業を自治会の方にお願いしたり、学校側が行ったりすることは難しいと考えている。

成功事例がある学校はあると思うが、そこは大変すばらしい仕事をされていると思うが、すべての学校で、というのはなかなか難しいのでは。

#### 委員

Jリーグの補助金はもう存在しないのか。

#### 事務局

t o t o の補助金であれば存在する。

#### 委員

本来ならば、子供たちが裸足になっても外遊びできる趣旨があると思うが、その趣旨には賛同したいと考えている。

#### 委員

私含め議員で視察に行った際、わざわざ靴・靴下を脱いで裸足で駆け回ったことがあるが、確かに気持ちがいい。子供たちが実際に裸足で走り回れたら気持ちが良いと感じた。

しかし、それを海老名市に当てはめた際、実際問題として植えるのは人数がいれば最初は行うことができると思う。

一方で、管理のことに目を向けると、例えば学校の芝生の管理をPTAの方にお願いできるのかと考えたときにそれは中々難しく、それでは範囲を広げて自治会を含めた地域の皆様をお願いをできるか、というと最初はいいかもかもしれないが、2度目3度目と回を重ねるうちに御協力いただける方も少なくなってしまう。

そうすると学校側としても管理しきれないのが現実問題である。

また、そこで市が予算をつけようとする大変な金額となるため、学校の芝生化というのは非常に良い事業である一方、定着しにくい事業でもあるということをお理解いただいてもよろしいかなと思う。

## 委員

提案となるが、北部公園の多目的広場について、少年サッカー教室やグラウンドゴルフで使用されているが、凸凹しており、転ぶと事故につながりうるので、この場所こそ芝生化していただきたいと考えている。

北部公園横を流れている目久尻川はシルバー人材センターが整備を任されているが、その方々から、「雨が降ると、北部公園の砂が目久尻川に流れ込んでおり大変だ」という風に聞いた。

シルバー人材の方の考慮をする意味でも、北部公園の多目的広場の芝生化を御検討いただき、芝生化いただければ、使用される方々にも喜んでいただけると考えている。

## 委員

次に進みます。

## 事務局

⑤評価p. 33「地域団体との連携」について、推進計画では事業としては残していないが、海老名市スポーツ推進委員等が地域に派遣する等、子どもたちとの連携を取っている。

そこで、推進計画では、p. 12「スポーツ推進委員との連携」と、p. 13「ニュースポーツ推進の研究」で地域との連携を高めていきたいという記載となっている。

⑥評価p. 35「プロスポーツ選手との交流促進」について、推進計画p. 13「高度スポーツ誘致」において、サッカーやアメリカンフットボール、野球、ラグビー等、スポーツチームに運動公園を御利用いただいて子供たちとの触れ合いの場や体験会等を設けたいと考えている。

加えて、推進計画p. 13「地元プロチームへの支援」では、包括連携協定を締結しているチームもいるというところで新しい計画に掲載をさせていただいた。

## 委員

「えびな未来創造プラン2020」とスポーツにおける関係は何か。

## 事務局

「えびな未来創造プラン2020」の中では、「スポーツ・レクリエーションの振興」と掲げており、「スポーツ・レクリエーションを通じて健やかな心と身体を育み、みんなが笑顔になります」というところで、目指す姿としては、1点目は、子供から高齢者、障がいの有無に関わらず、全ての市民が広く参加できる事業を展開している。

2点目として、団体等と連携し、「スポーツ」や「レクリエーション」を通じて市民一人ひとりが心身の健康の保持・増進に取り組むとともに、仲間づくり、地域づくりの活動に対して継続して支援している。

3点目として、神奈川県と連携し、スポーツ・レクリエーション施設のネットワーク化を推進しています。

4点目として、市民に安全・安心なスポーツ・レクリエーション施設の提供に努めている。

#### 委員

外国の方や性的マイノリティ等、多様性が見えるような計画にする必要があるのではないかと考えている。

それは共生社会にもつながると考えており、また、障がい者と健常者を分けるときも必要かもしれないが、一緒に行う事業も考える必要があるのではと考えている。

#### 委員

スポーツを振興する上で、ボランティア人材の確保・活用が、重要なリソースとなっている。この人材をどのようにして集めるかという観点で、人材バンクを設置する等、早急に対応していただくことで、部活動の地域移行や委託でのサポートもできるようになると思う。

未来を支える子供たちを楽しく年齢を超えてサポートできる体制を作ってほしいと考えている。

また、部活動の充実化という点で記載があるが、海老名市が部活動の地域移行・委託にむけてどのように進めていくのかをより具体化させていく必要があると思う。

最後に質問となるが、相模川高水敷の整備の中で、「スポーツコミュニティ広場」とあるが、これは具体的にどのような計画となっているのか。

#### 事務局

この計画自体はまだ定まっていない。元々このエリアは、高齢者の方のターゲットバードゴルフの場所として借りているところだったが、県の河川改修事業が一部完了したことに伴い、今後は幅広い方々に御利用いただける施設を整備していければと考えている。

#### 委員

おそらく多目的広場のようなイメージになるのではないか。

大雨が降ると、そのエリアは流されてしまう可能性があるので、復旧ができる範囲でとなると考えている。

#### 委員

推進計画p.10「スポーツ体験会の開催」について、とても良いプランができたと思ったが、一方で、推進計画p.9「EBINAスポレクフェスタの開催」は少し似ていると思った。少し差別化し、目標も変えた方がいいのではと考えている。

#### 事務局

子どもたちがスポーツをやりたくてもやれない、どのスポーツを選択したらいいか迷っていると聞いている。

そのような子ども達が、気軽にスポーツを体験し、その後自分に合ったスポーツが見つけれられるようなイベントにしたいと考えている。

詳細については、スポーツ協会と調整し実施したいと考えている。

#### 委員

子どもたちが身体を動かす機会が減っており、子どもたちにスポーツを楽しむことを知ってほしいと考えている。

#### 委員

推進計画p.8「相模川スポーツ施設のネットワーク化」とあるが、目久

尻川も散歩する方も多いので、流域の遊歩道・サイクリングロードの整備も御検討いただきたい。

**委員**

河川の管理は県である。

**委員**

連携して御検討いただきたい。

## 5 その他

**事務局**

- (1) 次回の審議会は、令和6年2月29日(木)午前10時から市役所庁舎3階政策審議室にて開催予定のため、御出席賜りたい。
- (2) 審議会後に資料をお読みいただいた中で御意見等があれば、メールにて意見の回答書の様式をお送りするので2月2日(金)までに事務局あてに回答いただきたい。

**委員**

1月28日(日)に開催される市駅伝競走大会は何時に運動公園に伺えばよいか。

**事務局**

今回朝が早く寒い時期のため、委員の皆様がご苦勞されると思い、通知は差し上げていない。もしお越しいただけるようであれば、8時20分から開会式を開催するので、そちらに間に合う形でお越しいただければと思う。

**委員**

今回補欠で参加する予定だが、最近シニアの方々が出ない傾向にある。駅伝もシニアの方々が積極的に出ることができる仕組みを御検討いただきたい。

## 6 閉会

<あいさつ> 齊藤副会長